

日高スズクタイランドが CSR-DIW AWARD 2025 を受賞しました

リバー株式会社(本社：東京都墨田区、代表取締役社長：松岡直人、以下「当社」)の持分法適用関連会社である HIDAKA SUZUTOKU (Thailand) Co., Ltd. (代表取締役社長：福島進、以下「HST」)は、タイ王国工業省 工業事業局 (Department of Industrial Works、以下「DIW」)より、「CSR-DIW AWARD 2025」(以下「CSR-DIW」)を受賞しましたので、お知らせいたします。

※HST は日高洋行エンタープライズ株式会社が 51%、当社が 49%を出資するタイにおける合弁会社(持分法適用関連会社)です。

DIW は 2007 年より、企業の社会的責任(CSR)の推進を目的とした CSR-DIW プロジェクトを継続的に展開しており、その取り組みの一環として 2020 年に企業の社会的責任に関する指針 (Guideline of Corporate Social Responsibility Standard)を策定しています。同指針は ISO26000 (社会的責任)に準拠し、CSR 実践において重要とされる 7 つの分野(①組織統治、②人権、③労働慣行、④環境、⑤公正な事業慣行、⑥消費者課題、⑦コミュニティ参画および発展)について基準を定めています。

今回の受賞にあたっては DIW による審査が実施され、(1)CSR-DIW ガイドラインに基づく事業運営体制(社内方針および組織体制)が整備され、適切に機能していること、(2)地域社会への貢献を含む CSR 活動が同ガイドラインに沿って継続的に実施されていること、が評価・確認されました。なお、本認証は毎年の審査により継続性が確認される仕組みとなっています。HST にとって 2025 年は初めての受賞となりますが、今後も継続的な取得を目指してまいります。

当社はこれからも、TRE グループが掲げる「WX (Waste Transformation) 環境企業への挑戦」(※)のもと、廃棄物の可能性を最大化する取り組みを推進し、高度循環型社会および脱炭素社会の実現に貢献するとともに、社会およびステークホルダーの皆さまから信頼される企業であり続けるべく、責任ある事業運営に取り組んでまいります。

※ 従来資源化の難しかった廃棄物・使用済製品等について、廃棄物処理の技術的・採算的課題を克服し、資源やエネルギーへと変換する取り組みであり、動脈・静脈の枠組みを超えた“共創”により高度循環型社会、脱炭素社会の実現を目指すもの。



HST 小林副社長と HST 社員



以上

< 本リリースに関する問い合わせ先 >

リバー株式会社 経営企画部広報課

連絡先: 03-5204-1891 e-mail: kouhou@re-ver.co.jp